

平成二十八年十月吉日

家庭に関する学科等卒業者の進学機会の拡大等についての要望書

全国高等学校長協会家庭部会
理事長 橘川 睦子
同 進路調査研究委員会
委員長 安 西 啓雄

家庭に関する学科等においては、将来の生活産業を担うスペシャリストの育成を目指し、知識・技術の習得はもとより、学習の定着をより確実にするため、公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会主催、文部科学省後援による家庭科技術検定（被服製作技術検定、食物調理技術検定、保育技術検定）などにも取り組んでおります。そのような中、高等学校で身につけた知識・技術をさらに高めるため、また、より高度な資格を取得するため、専修・専門学校への進学を希望する生徒が多数おります。

しかしながら経済的な理由で、進学を断念したり、入学後の学業に専念できない生徒も少なからずおり、その環境改善を切に願うものであります。

つきましては、進学機会の拡大等に向けた環境整備など、左記の事項について特段のご高配を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

一 家庭に関する学科等で学んだ学習成果に応じて、入学金・授業料等の減免や奨学金の貸与等、経済的優遇措置の一層の拡充。

二 入学者選抜において、課題研究や家庭科技術検定、学校家庭クラブ活動などの成果を尊重・重視した評価の導入並びに推進。

以上の二項目につきまして重点事項として要望いたします。